

# 令和2年度 現地見学会の実施

【概要】旧長沼舞鶴小学校に集合し、町有バスに参加者が乗車。車内では、正富先生からの解説や舞鶴遊水地にタンチョウを呼び戻す会からの見守り活動の紹介を実施した。

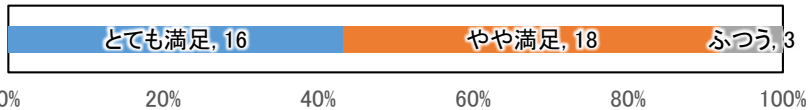
	開催日	時間	参加
第1便	令和2年8月18日(火)	13:30~14:00	13名
第2便		15:00~15:30	12名
第3便	令和2年8月20日(木)	15:00~15:30	16名

参加者内訳：協議会・専門部会委員、共生検討会議委員、長沼町議会議員、長沼町内事業者、長沼町民 等

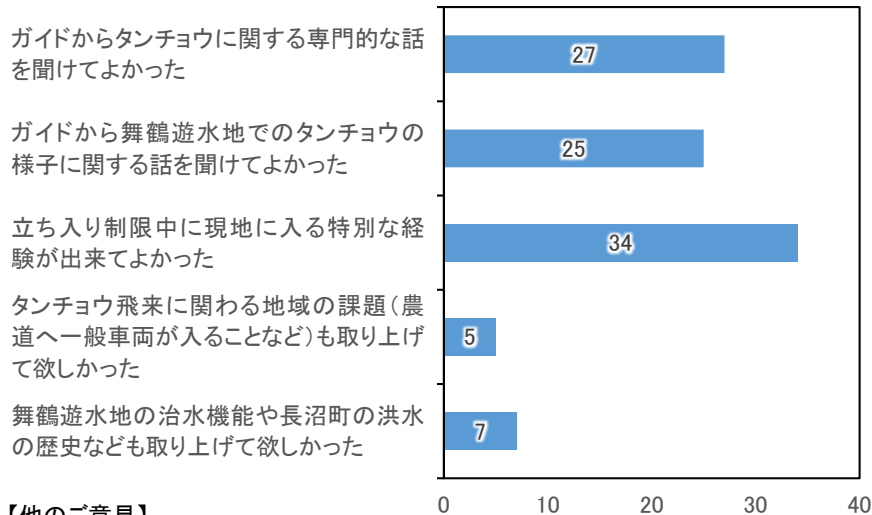


## 【参加者アンケート結果】

問1 現地見学会について、満足度をお聞かせください。



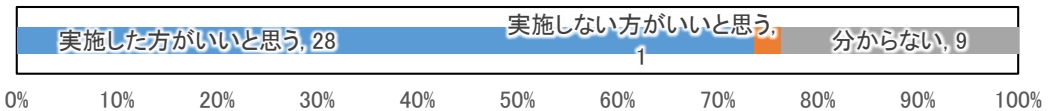
問2 現地見学会に参加して、感じたことをお聞かせください。



### 【他のご意見】

- タンチョウ以外の動植物の生態も知りたい。
- 反対意見等の問題も聞けると良い。
- 地域の課題や治水はバス見学の前に小学校か鳥の駅で解説してはどうか。

問3 長沼町でのタンチョウの保全と地域振興の両立に向け、今回のようなガイドが乗車したバスのみが立ち入り制限区域内に入って行けるツアーを、今後、一般を対象に実施することについてどう感じるかお教えてください。



### 【積極的なご意見】

- 正しいタンチョウの知識等は、ガイドから学べることが多い。
- ツアーを通じて、タンチョウの保全等を考える機会になる。理解者が増えることで今後につながる。
- 周辺の緑豊かな広大な農地も見て、いかにこの地が自然豊かな地かを感じてほしい。
- 月1回など定期的に、人数制限・申込先着順のツアーを実施してはどうか。

### 【慎重なご意見】

- 一般を対象にするには時期が早いような気がする。
- 一般よりも小学生などを対象に取組を知ってもらった方が将来につながるのでは。

問4 「タンチョウも住めるまちづくり」では、タンチョウの保全だけでなく、タンチョウをシンボルとした地域活性化や経済の好循環を目指しています。そのために必要だと思うことをお教えてください。

- 地域、町民の理解と協力をもっと得る。
- 道外の方、様々な業種の方に長沼町を見てもらいアイデアをもらう。
- タンチョウの個体数を増やす。
- タンチョウが定着した地として長沼町をPRする。
- 農業者の理解を得て、自然や生き物との共生をアピールする。
- ロゴマークを多くの商品につけて拡大させる。
- ゆるキャラをつくる。
- 観察施設の整備(トイレの設置、物産品の展示など)。
- タンチョウを「知る」「学ぶ」機会を増やす。
- 希望する町民全員に見守り隊になってもらい、地域全体でタンチョウを見守る意識を持つ。
- 自然や生命の大切さを学び、生活し、次世代へ引き継いでいく。